

# 平成28年3月期 決算説明会 データブック

平成28年5月25日  
シダックス株式会社  
(JASDAQ スタンドアード : 4837)

## 平成28年3月期 決算トピックス

### I. 連結経営成績 [短信 サマリー及び【添付資料】2～3ページ記載]

わが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和を背景に、景気は緩やかな回復基調にあるものの、個人消費については停滞感がみられるほか、円安に伴う輸入原材料の価格上昇など、景気の先行きは不透明な状況にあり、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当社グループは、“フードサービスから公共サービスまで提供可能な水平垂直統合型の企業構造”で他社との差別化を図り、プレミアムブランド戦略による高品質・高付加価値のサービスを提供するとともに、より一層の「安心・安全」な管理体制の強化、グループ総合力を活かしたトータルアウトソーシングによる営業拡大に努めてまいりました。

#### ■ 平成28年3月期 連結業績ハイライト

(単位:百万円)

	平成27年3月期				平成28年3月期						平成28年3月期	
	第2四半期累計(実績)		通期(実績)		第2四半期累計(実績)		通期(実績)		前期比		通期(計画)	
		構成比		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	期初予想	差額
売上高	91,419	100.0%	174,461	100.0%	80,234	100.0%	159,707	100.0%	△14,754	△8.5%	167,000	△7,292
売上原価	81,120	88.7%	153,330	87.9%	72,237	90.0%	142,310	89.1%	△11,019	△7.2%	—	—
売上総利益	10,299	11.3%	21,131	12.1%	7,997	10.0%	17,396	10.9%	△3,734	△17.7%	—	—
販売費及び一般管理費	10,240	11.2%	20,483	11.7%	8,998	11.2%	18,168	11.4%	△2,315	△11.3%	—	—
営業利益	58	0.1%	647	0.4%	△1,001	△1.2%	△771	△0.5%	△1,419	△219.0%	2,500	△3,271
営業外収益	316	0.3%	641	0.4%	498	0.6%	955	0.6%	313	48.9%	—	—
営業外費用	573	0.6%	1,086	0.6%	714	0.9%	1,273	0.8%	186	17.2%	—	—
経常利益	△197	△0.2%	202	0.1%	△1,217	△1.5%	△1,089	△0.7%	△1,292	△637.5%	1,780	△2,869
特別利益	5,618	6.1%	5,870	3.4%	136	0.2%	1,512	0.9%	△4,357	△74.2%	—	—
特別損失	58	0.1%	1,669	1.0%	281	0.4%	3,764	2.4%	2,095	125.6%	—	—
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	3,733	4.1%	255	0.1%	△1,402	△1.7%	△7,120	△4.5%	△7,375	△288.6%	600	△7,720
総資産	97,848	—	92,338	—	85,774	—	74,379	—	△17,958	—	—	—
純資産	27,933	—	26,133	—	17,722	—	11,445	—	△14,687	—	—	—
自己資本	27,933	—	26,133	—	17,722	—	11,445	—	△14,687	—	—	—
自己資本比率	28.5%	—	28.3%	—	20.7%	—	15.4%	—	△12.9%	—	—	—
ROE(自己資本当期利益率)	14.1%	—	1.0%	—	△6.4%	—	△37.9%	—	△38.9%	—	—	—
ROA(総資産経常利益率)	△0.2%	—	0.2%	—	△1.4%	—	△1.3%	—	△1.5%	—	—	—

(注)【ROE】=四半期(当期)純利益/自己資本合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)、【ROA】=経常利益/総資産合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)

#### 【売上高】1,597.0億円(期初予想対比△4.4%)

□ レストランカラオケ事業・個人消費の回復が依然鈍く、節約志向が高まり、低価格競争も激化しており、競合他社よりもより業種を超えた競争の激化など、事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況の中、様々なキャンペーン企画等による集客に取り組むとともにコスト管理を徹底し、収益性の向上に努めてきたものの、個人消費が回復に至らない中、競合他社との低価格競争及び他業種との顧客獲得競争の激化等の影響により期初予想を下回る。

#### 【営業利益】△7.7億円(期初予想25億円)

#### 【経常利益】△10.8億円(期初予想17.8億円)

トータルアウトソーシング事業において施設管理及び学童保育の受託が好調だったことにより、大幅な増益となる一方、レストランカラオケ事業において長引く景況感の悪化に伴い個人消費が本格回復に至らない中、同業他社との低価格競争や娯楽の多様化による他業種との顧客獲得競争激化による影響等により期初予想を下回る。

#### 【純利益】△71.2億円(期初予想6億円)

□ 主にレストランカラオケ事業の用に供する固定資産の減損損失の計上及び当社連結子会社での厚生年金基金解散損失引当金繰入額の計上があったほか、主に当社連結子会社において、繰延税金資産の回収可能性について検討を行った結果、繰延税金資産を一部取り崩したことにより、期初予想を下回る。

## II. セグメント別業績の増減説明

[短信【添付資料】2～3ページ及び21～23ページ記載]

### ■ セグメント別業績

(単位:百万円)

売上高	27年3月期	28年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	41,910	41,091	△ 818	△2.0%
コントラクトフードサービス事業	31,499	30,406	△ 1,093	△3.5%
メディカルフードサービス事業	35,736	34,442	△ 1,293	△3.6%
レストランカラオケ事業	36,884	30,717	△ 6,166	△16.7%
コンビニエンス中食事業	14,732	14,700	△ 31	△0.2%
トータルアウトソーシング事業	39,483	40,901	1,418	3.6%
その他	17,615	10,029	△ 7,585	△43.1%
消去及び全社	△ 43,399	△ 42,582	817	1.9%
売上高 計	174,461	159,707	△ 14,754	△8.5%

(単位:百万円)

セグメント利益	27年3月期	利益率	28年3月期	利益率	増減額	増減率
エスロジックス事業	3,340	8.0%	2,909	7.1%	△ 431	△12.9%
コントラクトフードサービス事業	1,434	4.6%	1,601	5.3%	166	11.6%
メディカルフードサービス事業	1,066	3.0%	1,050	3.0%	△ 16	△1.6%
レストランカラオケ事業	1,506	4.1%	△ 2,144	△7.0%	△ 3,650	△242.3%
コンビニエンス中食事業	293	2.0%	294	2.0%	0	0.2%
トータルアウトソーシング事業	1,365	3.5%	3,111	7.6%	1,746	127.9%
その他	△ 1,076	△6.1%	△ 859	△8.6%	217	20.2%
消去及び全社≒HQコスト	△ 7,283	—	△ 6,735	—	548	7.5%
営業利益	647	0.4%	△ 771	△0.5%	△ 1,419	△219.0%

□ エスロジックス事業は、主にグループ内への食材等の販売が減少したことにより売上高は410.9億円(前期比2.0%減)となりました。また、売上高の減少及び仕入価格の高騰などにより、セグメント利益は29.0億円(前期比12.9%減)となりました。

□ コントラクトフードサービス事業は、不採算店舗の撤退等により売上高は304.0億円(前期比3.5%減)となりましたが、労務・経費管理の徹底、赤字店舗の運営改善強化などによりセグメント利益は16.0億円(前期比11.6%増)となりました。

□ メディカルフードサービス事業は、不採算店舗の撤退等の影響により売上高の減少はあったものの、徹底した原価管理に努めた結果、売上高は344.4億円(前期比3.6%減)、セグメント利益は10.5億円(前期比1.6%減)となりました。

□ レストランカラオケ事業は、各種キャンペーン企画等の実施による売上計画達成に向けた取り組みを行いつつ、労務費の原価管理の徹底、店舗運営経費の見直し並びに販管費の適正化に努めてまいりましたが、個人消費が本格回復に至らない中、競合他社との低価格競争及び他業種との顧客獲得競争の激化等の影響により、売上高は307.1億円(前期比16.7%減)、セグメント損失は21.4億円(前年同期15.0億円のセグメント利益)となりました。

□ コンビニエンス中食事業は、大手コンビニエンスストアや多業態からの攻勢などにより厳しい経営環境の中で、品揃えの強化やキャンペーン企画を実施した結果、売上高は147.0億円(前期比0.2%減)、セグメント利益は2.9億円(前期比0.2%減)となりました。

□ トータルアウトソーシング事業は、社会サービス事業において地方自治体における財政再建と地域活性化へのニーズの高まりから引き続き民間委託が進んでおり、地方公共団体から学校給食業務、施設管理業務を新規に受託した結果、売上高は409.0億円(前期比3.6%増)、セグメント利益は31.1億円(前期比127.9%増)となりました。

□ スペシャルティールレストラン事業は、当期より「その他」のセグメントに含めることといたしました。上記のセグメント別の業績は、前期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値と比較しております。

### Ⅲ. 連結貸借対照表の増減説明

[短信【添付資料】6ページ及び12～13ページ記載]

#### ■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	27年3月期	28年3月期	増減額
現金及び預金	11,146	11,135	△ 11
売上債権	12,856	13,031	174
その他流動資産	7,289	6,834	△ 455
有形固定資産	29,840	24,244	△ 5,596
のれん	7,861	1,334	△ 6,527
敷金及び保証金	8,120	5,381	△ 2,738
その他固定資産・投資等	15,224	12,418	△ 2,805
資産計	92,338	74,379	△ 17,958

(単位:百万円)

	27年3月期	28年3月期	増減額
仕入債務	7,718	7,796	77
借入金・社債(短期・長期)	32,136	33,050	913
リース債務(短期・長期)	4,655	2,434	△ 2,220
資産除去債務	3,005	2,371	△ 633
その他負債	18,690	17,282	△ 1,408
負債計	66,205	62,934	△ 3,270
純資産	26,133	11,445	△ 14,687
自己資本比率	28.3%	15.4%	△ 12.9%

- 総資産は、前期末に比べ179.5億円減少し743.7億円(前期末比19.4%減)となりました。  
主に、減価償却等により有形固定資産が55.9億円及び平成25年改正後の「企業結合に関する会計基準」等を適用したこと等によりのれんが65.2億円減少したことによります。
- 負債は、前期末に比べ32.7億円減少し629.3億円(前期末比4.9%減)となりました。  
主に、返済等によりリース債務が22.2億円及びその他負債が14.0億円減少したことによります。
- 純資産は、前期末に比べ146.8億円減少し114.4億円(前期末比56.2%減)となりました。  
主に、平成25年改正後の「企業結合に関する会計基準」等を適用したこと等により資本剰余金が41.2億円、利益剰余金が22.7億円減少したほか、親会社株主に帰属する当期純損失71.2億円の計上と剰余金の配当5.8億円により利益剰余金が77.0億円減少したことによります。

以上の結果、当期末における自己資本比率は、前期末に比べ12.9ポイント低下し15.4%となりました。

#### IV. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減及び財政状態の説明

[短信 サマリー及び【添付資料】6～8ページ、18～19ページ記載]

##### ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	27年3月期	28年3月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	5,774	378	△ 5,395
投資活動キャッシュ・フロー	493	1,400	906
財務活動キャッシュ・フロー	△ 7,274	△ 1,769	5,505
換算差額	566	△ 19	△ 586
現金・同等物期末残高	10,371	10,362	△ 8

□ 営業活動の結果得られた資金は3.7億円(前期は57.7億円の資金獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純損失が33.4億円計上されたほか、未払消費税の減少額が17.1億円及び法人税等の支払額が13.8億円あった一方、減価償却費が51.4億円及び減損損失が24.7億円あったことによります。

□ 投資活動の結果得られた資金は14.0億円(前期は4.9億円の資金獲得)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が12.2億円あった一方、投資有価証券の売却による収入が8.6億円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が11.9億円及び保険積立金の払戻による収入が4.1億円あったことによります。

□ 財務活動の結果使用された資金は17.6億円(前期は72.7億円の資金使用)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が160.0億円あった一方、リース債務の返済による支出が24.9億円、長期借入金の返済による支出が143.2億円及び配当金の支払額が5.8億円あったことによります。

##### ■ キャッシュ・フロー指標の推移

	26年3月期	27年3月期	28年3月期
自己資本比率(%)	24.9	28.3	15.4
時価ベースの自己資本比率(%)	19.3	22.8	26.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	591.4	656.3	9,758.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	7.0	6.3	0.4

##### ■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	26年3月期	27年3月期	28年3月期	増減額
借入金・社債	37,002	32,136	33,050	913
リース債務	4,877	4,655	2,434	△ 2,220
割賦未払金	—	1,106	1,480	373
未経過リース料期末残高相当額(注)	849	552	633	81
合計	44,215	38,450	37,599	△ 851

(注) 不動産リース取引は除く

## V. 平成29年3月期の通期連結業績予想

[短信 サマリー 及び【添付資料】4～5ページ記載]

### ■ 次期の見通し

当社グループは、「食」を中心とした水平垂直統合型グループ構造の推進により経営効率化を図り、「食」のフィールド拡大と車両運行管理から社会サービスなど様々な業務の受託拡大を図るため、営業体制の強化を行うとともに、事業を通じて社会をより良いものにする「ソーシャル・ウェルネス・カンパニー」の実現のため環境・食料・地域の問題に対しても積極的に取り組んでまいります。

次期連結業績予想は、売上高1,520億円、営業利益33億円、経常利益21億円、親会社株主に帰属する当期純利益1億円を見込んでおります。

(単位:百万円)

	28年3月期 実績	29年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	159,707	152,000	△ 7,707	△4.8%
営業利益	-771	3,300	4,071	527.8%
経常利益	△ 1,089	2,100	3,189	292.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 7,120	100	7,220	101.4%

VI. セグメント別店舗数推移表

26年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトウケ	増加	1	19	4	11	6	5	6	51	3	2	2	2	1	8	69
	減少		7	6	5	2	2	3	25	2	1	7	1	6	19	61
	残	1,327	1,339	1,337	1,343	1,347	1,350	1,353	1,353	1,354	1,355	1,350	1,351	1,346	1,335	1,335
メディカル	増加		34	4	4	6	2	3	53	5	1	14	1	2	3	79
	減少	1	5	4	4	2	5	2	22	3	2	2	0	5	28	62
	残	786	815	815	815	819	816	817	817	819	818	830	831	828	803	803
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	減少		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	4
	残	302	302	302	302	302	302	301	301	301	302	302	299	300	300	300
車両 管理台数	増加		180	30	20	26	16	25	297	19	16	15	11	13	17	388
	減少		177	27	25	19	14	20	282	27	9	9	11	14	21	373
	残	3,596	3,599	3,602	3,597	3,604	3,606	3,611	3,611	3,603	3,610	3,616	3,616	3,615	3,611	3,611
社会 管理人員	増加		1,111	37	37	52	166	98	1,501	8	6	35	47	34	45	1,676
	減少		881	145	22	48	41	55	1,192	31	15	15	65	2	8	1,328
	残	7,888	8,118	8,010	8,025	8,029	8,154	8,197	8,197	8,174	8,165	8,185	8,167	8,199	8,236	8,236
コンビニエンス中食	残	398			393			390			391				382	

27年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトウケ	増加		24	6	5	2	3	5	45	8	2	1	2	2	2	62
	減少		9	5	4	3	3	4	28	4	6	7	2	6	36	89
	残	1,335	1,350	1,351	1,352	1,351	1,351	1,352	1,352	1,356	1,352	1,346	1,346	1,342	1,308	1,308
メディカル	増加		28	5	7	3	4	2	49	3	5	5			5	67
	減少		2	7	3	3	4	4	23	2	6	3	4		35	73
	残	803	829	827	831	831	831	829	829	830	829	831	827	827	797	797
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減少		0	1	1	15	0	1	18	0	2	0	1	0	0	21
	残	300	300	299	298	283	283	282	282	282	280	280	279	279	279	279
車両 管理台数	増加		165	30	30	27	10	22	284	27	29	11	15	13	21	400
	減少		178	21	17	20	18	7	261	32	15	33	5	11	43	400
	残	3,611	3,598	3,607	3,620	3,627	3,619	3,634	3,634	3,629	3,643	3,621	3,631	3,633	3,611	3,611
社会 管理人員	増加		1,046	30	27	13	99	130	1,345	51	70	6	22	20	60	1,574
	減少		472	85	37	195	117	57	963	15	16	13	47	19	57	1,130
	残	8,236	8,810	8,755	8,745	8,563	8,545	8,618	8,618	8,654	8,708	8,701	8,676	8,677	8,680	8,680
コンビニエンス中食	残	382			388			383			387				368	

28年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトウケ	増加		8	7	2	3	1	3	24	2	1	2	4	2	4	39
	減少		3	2	5	3	6	4	23	5	2	7	1	5	30	73
	残	1,308	1,313	1,318	1,315	1,315	1,310	1,309	1,309	1,306	1,305	1,300	1,303	1,300	1,274	1,274
メディカル	増加		31	2	2	5	2	2	42	1	1	2	1	2	2	51
	減少		3	7	7	7	4	4	32	5	4	4	4	0	39	84
	残	797	825	820	815	813	809	807	807	803	800	802	799	801	764	764
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減少		3	0	0	0	1	1	5	0	0	1	1	1	2	10
	残	279	276	276	276	276	275	274	274	274	274	273	272	271	269	269
車両 管理台数	増加		115	26	21	18	19	15	214	12	30	10	38	9	10	323
	減少		183	27	33	18	14	20	295	38	18	9	7	10	19	396
	残	3,611	3,543	3,542	3,530	3,530	3,535	3,530	3,530	3,504	3,516	3,517	3,548	3,547	3,538	3,538
社会 管理人員	増加		709	38	9	55	33	23	867	12	18	49	6	15	32	999
	減少		572	67	69	31	26	61	826	81	7	16	42	4	28	1,004
	残	8,680	8,817	8,788	8,728	8,752	8,759	8,721	8,721	8,652	8,663	8,696	8,660	8,671	8,675	8,675
コンビニエンス中食	残	368			374			369			369				361	

VII. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

26年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		3,327,982	3,443,424	3,325,607	3,245,695	4,133,066	3,172,854	20,648,627	2,850,786	3,089,328	5,245,137	3,901,592	2,547,623	3,571,110	41,854,204
客数(千人)		2,279	2,388	2,315	2,383	2,766	2,205	14,334	1,991	1,982	2,698	2,411	1,776	2,383	27,575
27年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		2,997,480	3,236,367	2,842,429	2,891,107	3,734,033	2,696,540	18,397,956	2,594,899	2,775,631	4,456,555	3,251,381	2,437,678	2,970,258	36,884,357
客数(千人)		2,045	2,198	2,040	2,128	2,570	1,967	12,946	1,798	1,845	2,315	2,039	1,712	2,050	24,706
28年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		2,476,582	2,707,692	2,320,513	2,507,077	2,985,628	2,288,421	15,285,914	2,195,518	2,254,798	3,793,579	2,718,560	2,005,194	2,464,099	30,717,662
客数(千人)		1,702	1,733	1,542	1,668	1,833	1,529	10,007	1,457	1,407	1,891	1,613	1,351	1,616	19,342